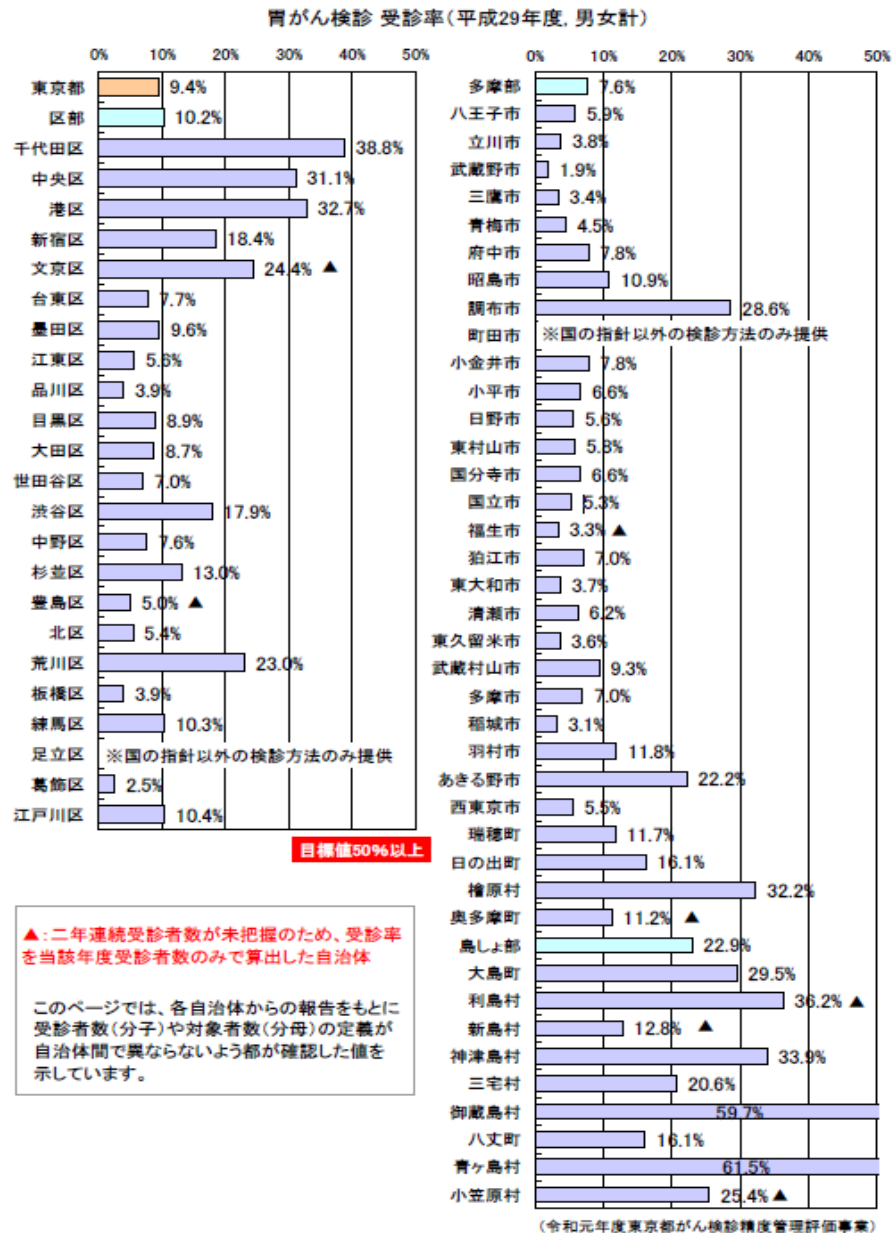


# 結果公表方法の変更

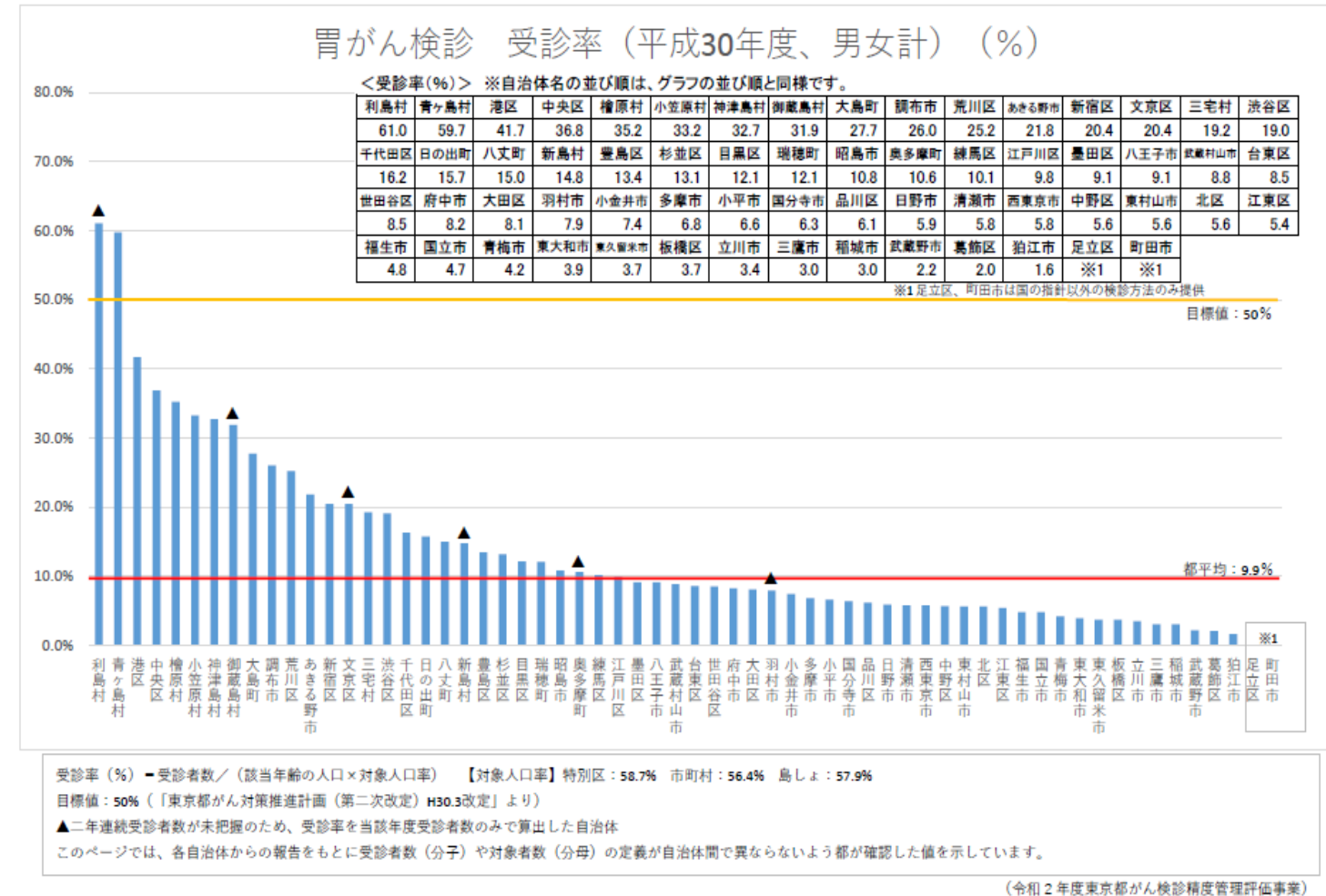
## ①プロセス指標 都内自治体一覧表

・区市町村の並び順を、自治体番号順から受診率等の高値順に変更

### ■変更前(R1)



### ■変更後(R2)



# 結果公表方法の変更

## ②自治体別プロセス指標等一覧シート

### ■変更前(R1)

R1.3公表

#### 【東京都】胃がん検診(胃部エックス線検査) 平成29年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢(50歳以上・隔年)	
※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	
検査方法(胃部エックス線検査)	
検査方法(胃内視鏡検査)	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	2,328,949	2,650,856	4,979,805
【東京都調査による対象者率(東京都): 57.9%】			
実際の受診者数	72,671	86,451	159,122

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値(許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	8.8%	9.9%	9.4%
要精検率	11%以下	11.4%	8.1%	9.6%
精検受診率	70%以上	71.1%	75.5%	73.1%
精検未把握率	10%以下	23.1%	20.0%	21.7%
精検未受診率	20%以下	5.8%	4.5%	5.2%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.8%	1.0%	1.5%
がん発見率	0.11%以上	0.21%	0.08%	0.14%

※台東区は要精検者数未集計のため、要精検率以降の集計からは除いている。

プロセス指標についての解説  
リンク先:「とうきょう健康ステーション」  
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

※受診率はエックス線検査または内視鏡検査を受診した者の合算集計である

**男性**

**女性**

**【評価結果】**

<受診率>  
『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>  
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>  
高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。



- ◆ 「技術・体制指標」に関する情報を新たに追加  
(⇒シート名を「プロセス指標等一覧シート」から「精度管理指標一覧シート」に変更)
- ◆ 掲載内容を「実施状況」、「プロセス指標」、「技術・体制指標」の3点に整理
- ◆ レーダーチャートを「プロセス指標」から「技術・体制指標」に変更
- ◆ 評価コメントを別紙のとおり掲載

### ■変更後(R2)

R3.3公表

#### 【東京都】胃がん検診(胃部エックス線検査) 平成30年度精度管理指標一覧シート

**がん検診実施状況**

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢(50歳以上・隔年) ※	
検査方法(胃部エックス線検査)	
検査方法(胃内視鏡検査)	

※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
上記以外の検査の実施	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	2,373,340	2,696,372	5,069,712
対象者数(※)	1,375,310	1,562,670	2,937,980
受診者数	65,768	75,981	141,749

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率(57.9%)を乗じた値

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>及び<国の指針に基づくもの以外の実施状況>は令和2年度の状況である

**がん検診の精度管理指標の状況**

※精度管理指標とは?  
[http://ganscreen.ncc.go.jp/management/m\\_about/hyouka.html](http://ganscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html) (国立がん研究センター社会と健康研究センターHP)

◆プロセス指標

	あるべき値(許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	9.3%	10.4%	9.9%
要精検率	11%以下	11.5%	8.7%	10.0%
精検受診率	70%以上	74.2%	78.2%	76.0%
精検未把握率	10%以下	20.4%	18.6%	19.6%
精検未受診率	20%以下	5.4%	3.2%	4.4%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.9%	0.9%	1.4%
がん発見率	0.11%以上	0.22%	0.08%	0.14%

※受診率はエックス線検査または内視鏡検査を受診した者の合算集計である。  
※台東区は要精検者数未集計のため、要精検率以降の集計からは除いている。

**【評価コメント】**

<受診率>  
目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

<精検受診率・未受診率・未把握率>  
許容値を満たしています。目標値90%の達成に向けた取組の強化をご検討ください。

<要精検率>  
許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。

<陽性反応適中度・がん発見率>  
低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。

**【都評価基準に基づく評価】**

※都評価基準とは?  
[https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/lorikumi-kankei/hyouka/pdf/01\\_1\\_siryod.pdf](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/lorikumi-kankei/hyouka/pdf/01_1_siryod.pdf) (とうきょう健康ステーションHP)

	実施率	評価
集団検診	81.2%	C
個別健診	76.7%	C

← 評価「C」以下を改善指導対象とする。

**【評価コメント】**

**集団** <精検受診把握・受診勧奨>「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行いましう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。□

<検診機関の質の担保>「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとに精度管理評価(チェックリストやプロセス指標)をフィードバックしましょう。

**個別** <精検受診把握・受診勧奨>「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行いましう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。□

<検診機関の質の担保>「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとに精度管理評価(チェックリストやプロセス指標)をフィードバックしましょう。

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒(とうきょう健康ステーションHPのリンクを貼る)

## 平成30年度精度管理指標一覧シート作成のためのチェックリスト項目

1 一次検診の精度管理		
<b>1-1 検診対象者と受診者の情報管理</b>		
(1)対象者名簿の作成及び対象者数の把握		
1	問1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
2	問1-3	対象者数（推計でも可）を把握しましたか
(2)受診台帳の整備		
3	問2-1	個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
4	問2-2	過去5年間の受診歴を記録していますか（胃内視鏡検査を除く）
(3)受診者数（率）の分析		
5	問7-1	受診率の集計
6	問7-1-1	受診率の性別・年齢5歳階級別の集計
7	問7-1-2	受診者数の検診機関別の集計
8	問7-1-3	受診者数の検診受診歴別の集計
<b>1-2 検診の受診勧奨</b>		
9	問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか
10	問3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
<b>1-3 要精検率の把握・分析</b>		
(1)要精検率の把握		
11	問9-1	要精検率の集計
(2)要精検率の分析		
12	問9-1-1	要精検率の性別・年齢5歳階級別の集計
13	問9-1-2	要精検率の検診機関別の集計
14	問9-1-3	要精検率の検診受診歴別の集計
2 精検受診把握・受診勧奨		
<b>2 精検受診の有無の把握と受診勧奨</b>		
(1)精検受診の有無の把握		
1	問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか
2	問4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
3	問10-1	精検受診率の集計
4	問10-2	精検未受診率の集計
(2)精検未受診者に対する受診勧奨		
5	問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
6	問3-2-1	【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
7	問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
(3)精検受診率の分析		
8	問10-1-1	精検受診率の性別・年齢5歳階級別の集計
9	問10-1-2	精検受診率の検診機関別の集計
10	問10-1-3	精検受診率の検診受診歴別の集計
3 精検結果把握		
<b>3 精検結果の把握</b>		
1	問4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
2	問4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
3	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか
4	問11-1	がん発見率の集計
5	問13-1	早期がん割合の集計
6	問15-1	上皮内病変（CINなど）の区分毎の集計
7	問15-2	微小浸潤がん割合の集計
8	問12-1	陽性反応適中度の集計
9	問5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
10	問5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
11	問5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
12	問5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

#### 4 精検結果分析

##### 4 精検結果の分析

1	問11-1-1	がん発見率の性別・年齢5歳階級別の集計
2	問11-1-2	がん発見率の検診機関別の集計
3	問11-1-3	がん発見率の検診受診歴別の集計
4	問11-1-4	がん発見率の検査方法別の集計（乳がん検診のみ）
5	問13-1-1	早期がん割合の性別・年齢5歳階級別の集計
6	問13-1-2	早期がん割合の検診機関別の集計
7	問13-1-3	早期がん割合の検診受診歴別の集計
8	問13-1-4	早期がん割合の検査方法別の集計（乳がん検診のみ）
9	問14-1	（胃、大腸がん）粘膜内がん、（乳がん）非浸潤がんの集計
10	問15-1-1	上皮内病変（CINなど）の区分毎の年齢5歳階級別の集計
11	問15-1-2	上皮内病変（CINなど）の区分毎の検診機関別の集計
12	問15-1-3	上皮内病変（CINなど）の区分毎の検診受診歴別の集計
13	問15-2-1	微小浸潤がん割合の年齢5歳階級別の集計
14	問15-2-2	微小浸潤がん割合の検診機関別の集計
15	問15-2-3	微小浸潤がん割合の検診受診歴別の集計
16	問12-1-1	陽性反応適中度の性別・年齢5歳階級別の集計
17	問12-1-2	陽性反応適中度の検診機関別の集計
18	問12-1-3	陽性反応適中度の検診受診歴別の集計
19	問12-1-4	陽性反応適中度の検査方法別の集計（乳がん検診のみ）
20	問5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和元年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか

#### 5 検診機関の質の担保

##### 5 検診機関（医療機関）の質の担保

(1)適切な仕様書に基づく委託検診機関の選定		
1	問6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか
2	問6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか
(2)検診結果（精検結果）に基づくフィードバック		
3	問6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
4	問6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
5	問6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
6	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか
7	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

## 平成30年度精度管理指標一覧シート 評価コメント掲載内容

## 1 プロセス指標

事項	掲載基準	コメント内容
受診率 1	受診率50%以上	目標値を達成しています。引き続き受診率の向上に取り組んでください。
受診率 2	受診率50%未満	目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。
精検受診 1	精検受診率90%以上	目標値を達成しています。引き続き精検受診率の向上に取り組んでください。
精検受診 2	精検受診率70%以上90%未満	許容値を満たしています。目標値90%の達成に向けた取組の強化をご検討ください。
精検受診 3	「精検受診率70%未満」かつ「未受診者率0%」	未受診者の把握が課題です。精検受診勧奨等により、精検受診率向上及び未受診者の把握に努めてください。
精検受診 4	「精検受診率70%未満」かつ「未受診率<未把握率」（がん部会意見通知と同基準）	未把握率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。 【取組例】精検結果報告書の導入、要精検者本人へのアンケート調査、要精検者への精検実施医療機関リストの提示等
精検受診 5	「精検受診率70%未満」かつ「未受診率>未把握率」（がん部会意見通知と同基準）	未受診率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。 【取組例】精検受診勧奨・再勧奨の実施、要精検者への精検実施医療機関リストの提示等
要精検率	一律に表示（指標値の解釈を周知）	許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。
がん発見率・陽性反応適中度	一律に表示（指標値の解釈を周知）	低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。

## 2 技術・体制指標

◆掲載基準：下記5項目のうち、集団・個別ごとに実施率の低い2項目を掲載する

事項	コメント内容
一次検診の精度管理	<一次検診の精度管理> 検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがんと検診の正しい情報を伝えましょう。
精検受診把握・受診勧奨	<精検受診把握・受診勧奨> 「精検結果報告書（都統一様式）」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行いましょう。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。
精検結果把握	<精検結果把握> 「精検結果報告書（都統一様式）」を使用して精検日・精検機関・精検方法・精検結果を全て把握しましょう。精検結果が不明の場合は要精検者や精検機関への照会を行いましょう。
精検結果分析	<精検結果分析> プロセス指標を性/年齢階級/検診機関/受診歴別に分析し、許容値と比較して不適正の場合は問題点を確認し対策を講じましょう。
検診機関の質の担保	<検診機関の質の担保> 「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとに精度管理評価（チェックリストやプロセス指標）をフィードバックしましょう。